



## 平成30年3月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

平成29年11月1日

上場会社名 参天製薬株式会社

上場取引所 東

コード番号 4536 URL <http://www.santen.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 黒川 明

問合せ先責任者 (役職名) コーポレート・コミュニケーショングループ グループマネージャー (氏名) クリストファー・ホフマン TEL 06-4802-9360

四半期報告書提出予定日 平成29年11月7日 配当支払開始予定日 平成29年11月30日

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

### 1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

コアベース

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		コア営業利益		コア四半期利益		親会社の所有者に 帰属する コア四半期利益		基本的1株当たり コア四半期利益	希薄化後1株当たり コア四半期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	110,774	13.2	24,386	8.6	17,901	6.9	17,912	6.9	44.09	43.93
29年3月期第2四半期	97,829	△0.0	22,464	△8.5	16,750	2.2	16,750	2.2	40.46	40.31

#### IFRS（フル）ベース

	売上収益		営業利益		税引前四半期利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	110,774	13.2	21,039	12.0	20,686	22.5	15,246	21.9	15,257	22.0	19,981	462.7
29年3月期第2四半期	97,829	△0.0	18,787	△71.3	16,881	△74.2	12,505	△71.4	12,505	△71.4	3,551	△91.8

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	37.56	37.42
29年3月期第2四半期	30.21	30.09

#### (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	374,180	271,798	270,091	72.2	664.68
29年3月期	358,906	255,929	255,110	71.1	628.09

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	13.00	—	13.00	26.00
30年3月期	—	13.00	—	—	—
30年3月期（予想）	—	—	—	13.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

コアベース

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		コア営業利益		コア当期利益		親会社の所有者に 帰属するコア当期利益		基本的1株当たり コア当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	218,000	9.5	44,000	10.9	31,200	6.9	31,400	7.6	77.31

#### IFRS（フル）ベース

	売上収益		営業利益		税引前当期利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	218,000	9.5	37,400	15.2	37,700	25.4	26,800	23.4	26,900	23.8	66.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

IFRS（フル）ベースの数値からコアベースの数値への調整内容は、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（1）経営成績に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

なお、当第2四半期連結会計期間において、Santen Ventures, Inc. を新たに設立したため、連結の範囲に含めています。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期2Q	406,353,515株	29年3月期	406,173,015株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	6,961株	29年3月期	6,646株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期2Q	406,235,822株	29年3月期2Q	413,976,129株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいています。実際の業績は、事業環境変化、新薬の承認時期、為替レート変動、医薬品行政の動向など様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があります。

（決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法）

当社は、平成29年11月2日（木）に証券アナリスト、機関投資家向けの第2四半期決算説明会を開催する予定です。この説明会で使用する資料は、開催後当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	6
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	6
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	7
(1) 要約四半期連結純損益及びその他の包括利益計算書 .....	7
(2) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	8
(3) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	10
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	12
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(セグメント情報) .....	13
(子会社の取得による支出) .....	14
(企業結合) .....	14
(重要な後発事象) .....	16
3. 連結参考資料 .....	17
(1) 主要製品売上収益 .....	17
(2) 医薬品開発状況 .....	18
(3) 設備投資、減価償却費及び償却費、製品に係る無形資産償却費ならびに研究開発費 .....	20

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 当第2四半期連結累計期間の業績の状況

(ア) コアベース ※1

(単位：百万円)

	前第2四半期	当第2四半期	対前年同期増減率
売上収益	97,829	110,774	13.2%
コア営業利益	22,464	24,386	8.6%
コア四半期利益	16,750	17,901	6.9%
親会社の所有者に帰属する コア四半期利益	16,750	17,912	6.9%

[売上収益]

前年同期と比べ13.2%増加し、1,108億円となりました。

主力の国内医療用医薬品事業において継続的に伸長するとともに、海外事業においてもEMEA（ヨーロッパ、中東およびアフリカ）・アジアで当社製品は順調に市場浸透し、高い成長率を維持しています。事業別の状況は次のとおりです。

(単位：百万円)

	国内		海外		合計	
	金額	対前年同期増減率	金額	対前年同期増減率	金額	対前年同期増減率
医薬品事業	76,472	8.7%	32,781	26.3%	109,253	13.4%
医療用医薬品	68,912	7.1%	32,628	26.0%	101,540	12.6%
うち眼科薬	68,546	6.9%	32,432	29.2%	100,978	13.1%
うちその他医薬品	366	104.0%	196	△75.0%	563	△41.7%
一般用医薬品	7,560	25.3%	153	178.7%	7,713	26.7%
その他の事業	1,484	2.0%	38	△48.0%	1,521	△0.4%
医療機器	1,245	△1.1%	17	34.0%	1,262	△0.7%
その他	239	21.6%	20	△65.9%	259	1.3%
合計	77,955	8.6%	32,819	26.1%	110,774	13.2%

(注) 各セグメントの売上収益は、外部顧客に対する売上収益を表しています。

(医薬品事業)

<医療用医薬品>

◇国内

前年同期と比べ7.1%増加し、689億円となりました。各疾患領域の主力製品の売上推移は次のとおりです。

- ・緑内障・高眼圧症治療剤領域
  - 「タプロス点眼液」 49億円（対前年同期増減率 △0.5%）
  - 「タプコム配合点眼液」 13億円（対前年同期増減率 +13.4%）
  - 「コソプト配合点眼液」 59億円（対前年同期増減率 +0.5%）
- ・角結膜疾患治療剤領域
  - 「ヒアレイン点眼液」 57億円（対前年同期増減率 △8.3%）
  - 「ジクアス点眼液」 64億円（対前年同期増減率 +19.3%）
- ・抗アレルギー点眼剤領域
  - 「アレジオン点眼液」 51億円（対前年同期増減率 +25.1%）
- ・網膜疾患治療剤領域
  - 「アイリーア硝子体内注射液 ※2」 260億円（対前年同期増減率 +14.1%）

◇海外

ヨーロッパ

円換算ベースで前年同期と比べ30.8%増加し、171億円となりました。

医薬情報提供などの普及促進活動に注力し、緑内障・高眼圧症治療剤「タフロタン」、  
「サフルタン」、「タブティコム」、「コソプト」、「トルソプト」、角結膜疾患治療剤  
「アイケルビス」が市場に浸透しています。

アジア

円換算ベースで前年同期と比べ28.1%増加し、154億円となりました。

「ヒアレイン」、「クラビット」等主力品の普及促進活動の展開により、中国や韓国で着  
実に成長するとともに、ベトナムやタイなどのアセアン諸国においても高い成長率を維持し  
ています。

<一般用医薬品>

前年同期と比べ26.7%増加し、77億円となりました。

インバウンド需要の取り込みに加え、新「サンテメディカルシリーズ」、「ソフトサンティ  
アシリーズ」などの高価格帯品が好調を維持しています。また、「サンテFXシリーズ」で  
は、人気アニメとのコラボレーション企画が奏功しています。

(その他の事業)

<医療機器>

前年同期と比べ0.7%減少し、13億円となりました。

高屈折率のアクリル素材を光学部に用いたフォールダブル眼内レンズ「エタニティ」シリー  
ズの普及促進活動に引き続き注力しています。

<その他>

その他の売上収益は3億円となりました。サプリメント製品の販売、株式会社クレール（連  
結子会社）での無塵・無菌服のクリーニング業によるものです。

[コア営業利益]

売上総利益は、前年同期と比べ68億円増加し、678億円となりました。売上原価率は、前年同期  
と比べ1.1ポイント増加し、38.8%となりました。

販売費及び一般管理費は、海外事業の拡大に伴い、前年同期と比べ35億円増加し、317億円とな  
りました。

研究開発費は、前年同期と比べ14億円増加し、117億円となりました。

以上により、コアベースでの営業利益は、前年同期と比べ8.6%増加し、244億円となりました。

※1 参天製薬グループではIFRS適用を機に、IFRSによる業績（「IFRS（フル）ベース」）から一  
部の収益および費用を控除した「コアベース」での財務情報を経常的な業績を示す指標とし  
て開示しています。IFRS（フル）ベースによる業績からコアベースでの業績への調整におい  
て控除する以下の収益および費用とそれらに係る法人所得税費用を調整し、コアベースを算  
出しています。

- ・ 製品に係る無形資産償却費
- ・ その他の収益
- ・ その他の費用
- ・ 金融収益
- ・ 金融費用
- ・ 販売費及び一般管理費のうち企業買収に係る一過性費用

※2 製造販売元であるバイエル薬品株式会社とのコ・プロモーション製品です。

（イ）IFRS（フル）ベース

（単位：百万円）

	前第2四半期	当第2四半期	対前年同期増減率
売上収益	97,829	110,774	13.2%
営業利益	18,787	21,039	12.0%
四半期利益	12,505	15,246	21.9%
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	12,505	15,257	22.0%

〔売上収益〕

コアベースからの調整はありません。

〔営業利益〕

売上総利益、販売費及び一般管理費、研究開発費について、コアベースからの調整はありません。

製品に係る無形資産償却費は、前年同期と比べ4.9%増加し、33億円となりました。これは主に、米メルク社から2014年に譲受けた眼科製品に関する無形資産、ならびに2015年より欧州で販売を開始した「アイケルビス」に関する無形資産の償却によるものです。

その他の収益は、前年同期とほぼ同水準の2億円となり、その他の費用は、前年同期とほぼ同水準の2億円となりました。

これらにより、IFRS（フル）ベースの営業利益は、前年同期と比べ12.0%増加し、210億円となりました。

〔親会社の所有者に帰属する四半期利益〕

親会社の所有者に帰属する四半期利益は、前年同期と比べ22.0%増加し、153億円となりました。売上収益に対するその比率は、13.8%となりました。

② 研究開発活動

<緑内障・高眼圧症領域>

EP2受容体作動薬DE-117（一般名：オミデネパグ イソプロピル）は、米国で後期第Ⅱ相試験を終了し、日本では後期第Ⅱ/Ⅲ相試験を実施中です。アジアでは2016年12月に第Ⅲ相試験を開始しました。

FP/EP3受容体デュアル作動薬DE-126（一般名：sepetaprost）は、2017年7月に米国、日本にて後期第Ⅱ相試験を開始しました。

2016年8月に買収したInnFocus社の緑内障用デバイスInnFocus MicroShunt（DE-128）は、欧州におけるCEマークの承認を取得しており、FDA承認取得に向け、米国および欧州にて第Ⅱ/Ⅲ相試験を実施しています。

<角結膜疾患（ドライアイを含む）領域>

DE-089（一般名：ジクアホソルナトリウム）は、2017年10月に中国で輸入医薬品承認を取得しました。

Cyclokot（開発品名：シクロカット、一般名：シクロスポリン）は、アジアで順次販売承認を申請しており、2016年11月にタイで、2017年3月に韓国等で販売承認を取得しました。

Vekacia（開発品名：ベカシア、一般名：シクロスポリン）は、2016年12月に欧州で販売承認を申請し、2017年7月に欧州医薬品庁の医薬品評価委員会より承認勧告を取得しました。

<網膜・ぶどう膜疾患領域>

ぶどう膜炎を適応症とするDE-109（一般名：シロリムス）は、2017年2月に米国で販売承認を申請しました。欧州では販売承認申請を準備中です。

DE-122（一般名：carotuximab）は、滲出型加齢黄斑変性を対象とした米国での第Ⅰ/Ⅱ相試験を終了しました。2017年7月に前期第Ⅱ相試験を開始しました。

<その他疾患領域>

近視を適応症とするDE-127（一般名：アトロピン硫酸塩）は、アジアで第Ⅱ相試験を準備中です。

（2）財政状態に関する説明

① 資産、資本及び負債の状況

当第2四半期末の資産は、前期末と比べ153億円増加し、3,742億円となりました。これは現金及び現金同等物の増加、売上収益の増加に伴い営業債権及びその他の債権が増加したことなどによるものです。

資本は、前期末と比べ159億円増加し、2,718億円となりました。これは利益剰余金およびその他の資本の構成要素の増加などによるものです。

負債は、前期末と比べ6億円減少し、1,024億円となりました。これは未払法人所得税等、営業債務及びその他の債務などの増加があったものの、その他の金融負債および金融負債の減少などによるものです。

以上の結果、親会社所有者帰属持分比率は、前期末と比べ1.1ポイント増加し、72.2%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期の営業活動によるキャッシュ・フローは、217億円の収入（前年同期は、50億円の支出）となりました。これは法人所得税の支払いが33億円、営業債権及びその他の債権の増加が31億円などありましたが、四半期利益が152億円、減価償却費及び償却費が54億円および法人所得税費用が54億円あったことなどによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、40億円の支出（前年同期は、237億円の支出）となりました。これは無形資産の取得による支出が23億円、有形固定資産の取得による支出が17億円あったことなどによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、89億円の支出（前年同期は、92億円の支出）となりました。これは配当金の支払いが53億円、長期借入金の返済による支出が46億円あったことなどによるものです。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第2四半期末残高は、前期末と比べ96億円増加し、618億円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期の業績は、概ね予定通り推移しており、2017年5月10日に公表した業績予想からの変更はございません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結純損益及びその他の包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)
売上収益	97,829	110,774
売上原価	△36,836	△42,971
売上総利益	60,993	67,803
販売費及び一般管理費	△28,738	△31,676
研究開発費	△10,304	△11,742
製品に係る無形資産償却費	△3,169	△3,324
その他の収益	216	200
その他の費用	△211	△223
営業利益	18,787	21,039
金融収益	445	497
金融費用	△2,352	△851
税引前四半期利益	16,881	20,686
法人所得税費用	△4,375	△5,440
四半期利益	12,505	15,246
その他の包括利益		
純損益に振り替えられない項目：		
確定給付制度の再測定	—	—
その他の包括利益を通じて公正価値で測定 する金融資産の純変動	△4,261	1,544
純損益に振り替えられる可能性のある項目：		
在外営業活動体の換算差額	△4,693	3,192
その他の包括利益	△8,954	4,736
四半期包括利益合計	3,551	19,981
四半期利益の帰属		
親会社の所有者持分	12,505	15,257
非支配持分	—	△11
四半期利益	12,505	15,246
四半期包括利益合計の帰属		
親会社の所有者持分	3,551	19,931
非支配持分	—	51
四半期包括利益合計	3,551	19,981
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益（円）	30.21	37.56
希薄化後1株当たり四半期利益（円）	30.09	37.42
※コアベース		
売上収益	97,829	110,774
コア営業利益	22,464	24,386
コア四半期利益	16,750	17,901
基本的1株当たりコア四半期利益（円）	40.46	44.09
希薄化後1株当たりコア四半期利益（円）	40.31	43.93
コア四半期利益の帰属		
親会社の所有者持分	16,750	17,912
非支配持分	—	△11
コア四半期利益	16,750	17,901

（2）要約四半期連結財政状態計算書

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2017年9月30日)
資産		
非流動資産		
有形固定資産	28,550	29,393
無形資産	138,935	138,570
金融資産	29,889	31,899
繰延税金資産	2,396	2,176
その他の非流動資産	2,124	2,310
非流動資産合計	201,894	204,348
流動資産		
棚卸資産	28,502	28,063
営業債権及びその他の債権	70,970	74,837
その他の金融資産	333	843
その他の流動資産	3,909	4,243
現金及び現金同等物	53,297	61,846
流動資産合計	157,011	169,832
資産合計	358,906	374,180

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2017年9月30日)
<b>資本</b>		
親会社の所有者に帰属する持分		
資本金	7,792	7,856
資本剰余金	8,417	8,482
自己株式	△10	△10
利益剰余金	223,283	233,260
その他の資本の構成要素	15,628	20,503
親会社の所有者に帰属する持分合計	255,110	270,091
非支配持分	819	1,708
資本合計	255,929	271,798
<b>負債</b>		
非流動負債		
金融負債	26,288	23,788
退職給付に係る負債	1,900	2,368
引当金	1,426	1,415
繰延税金負債	17,963	17,781
その他の非流動負債	1,919	1,237
非流動負債合計	49,496	46,589
流動負債		
営業債務及びその他の債務	23,937	26,431
その他の金融負債	17,649	14,338
未払法人所得税等	3,279	6,061
引当金	1,372	1,361
その他の流動負債	7,244	7,602
流動負債合計	53,481	55,793
負債合計	102,977	102,381
資本及び負債合計	358,906	374,180

（3）要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間（自 2016年4月1日 至 2016年9月30日）

（単位：百万円）

	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素	
					確定給付制度の再測定	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動
2016年4月1日残高	7,695	8,389	△24	221,945	—	18,676
四半期包括利益						
四半期利益				12,505		
その他の包括利益						△4,261
四半期包括利益合計	—	—	—	12,505	—	△4,261
所有者との取引額						
新株の発行	21	21				
自己株式の取得		△8	△2,065			
自己株式の処分			0			
配当金				△5,384		
株式報酬取引						
その他				2,251		△2,246
所有者との取引額合計	21	13	△2,065	△3,133	—	△2,246
2016年9月30日残高	7,716	8,402	△2,089	231,317	—	12,169

	その他の資本の構成要素			親会社の所有者に帰属する持分合計	非支配持分	資本合計
	在外営業活動体の換算差額	新株予約権	合計			
2016年4月1日残高	2,611	716	22,003	260,009	—	260,009
四半期包括利益						
四半期利益			—	12,505		12,505
その他の包括利益	△4,693		△8,954	△8,954		△8,954
四半期包括利益合計	△4,693	—	△8,954	3,551	—	3,551
所有者との取引額						
新株の発行		△6	△6	36		36
自己株式の取得			—	△2,073		△2,073
自己株式の処分			—	0		0
配当金			—	△5,384		△5,384
株式報酬取引		138	138	138		138
その他		△4	△2,251	—		—
所有者との取引額合計	—	128	△2,118	△7,282	—	△7,282
2016年9月30日残高	△2,082	844	10,931	256,277	—	256,277

当第2四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)

(単位:百万円)

	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素	
					確定給付制度の再測定	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動
2017年4月1日残高	7,792	8,417	△10	223,283	—	9,470
四半期包括利益						
四半期利益				15,257		
その他の包括利益						1,544
四半期包括利益合計	—	—	—	15,257	—	1,544
所有者との取引額						
新株の発行	65	65				
自己株式の取得			△1			
配当金				△5,280		
非支配持分を伴う子会社の資本変動						
株式報酬取引						
その他				1		△1
所有者との取引額合計	65	65	△1	△5,279	—	△1
2017年9月30日残高	7,856	8,482	△10	233,260	—	11,013

	その他の資本の構成要素			親会社の所有者に帰属する持分合計	非支配持分	資本合計
	在外営業活動体の換算差額	新株予約権	合計			
2017年4月1日残高	5,332	825	15,628	255,110	819	255,929
四半期包括利益						
四半期利益			—	15,257	△11	15,246
その他の包括利益	3,130		4,674	4,674	62	4,736
四半期包括利益合計	3,130	—	4,674	19,931	51	19,981
所有者との取引額						
新株の発行		△16	△16	113		113
自己株式の取得			—	△1		△1
配当金			—	△5,280		△5,280
非支配持分を伴う子会社の資本変動			—	—	838	838
株式報酬取引		218	218	218		218
その他			△1	—		—
所有者との取引額合計	—	202	201	△4,950	838	△4,112
2017年9月30日残高	8,462	1,027	20,503	270,091	1,708	271,798

（4）要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2016年4月1日 至 2016年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2017年4月1日 至 2017年9月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
四半期利益	12,505	15,246
減価償却費及び償却費	4,837	5,384
減損損失	67	115
金融収益及び金融費用（△は益）	1,651	△11
法人所得税費用	4,375	5,440
営業債権及びその他の債権の増減（△は増加）	△1,751	△3,140
棚卸資産の増減（△は増加）	△2,879	1,192
営業債務及びその他の債務の増減（△は減少）	△501	2,383
引当金及び退職給付に係る負債の増減（△は減少）	△83	265
その他	△3,061	△2,143
小計	15,160	24,732
利息の受取額	33	47
配当金の受取額	268	293
利息の支払額	△30	△18
法人所得税の支払額	△20,480	△3,321
営業活動によるキャッシュ・フロー	△5,049	21,732
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	19	—
投資の取得による支出	△114	△5
投資の売却による収入	483	2
子会社株式の取得による支出	△19,047	—
有形固定資産の取得による支出	△2,066	△1,692
有形固定資産の売却による収入	4	—
無形資産の取得による支出	△2,751	△2,284
その他	△233	△11
投資活動によるキャッシュ・フロー	△23,705	△3,991
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	3,000	—
長期借入金の返済による支出	△4,825	△4,575
自己株式の取得による支出	△2,073	△1
非支配株主からの払込による収入	—	838
配当金の支払額	△5,385	△5,279
その他	43	111
財務活動によるキャッシュ・フロー	△9,239	△8,905
現金及び現金同等物の増減額	△37,993	8,836
現金及び現金同等物の期首残高	99,798	52,282
現金及び現金同等物の為替変動による影響	△3,462	727
現金及び現金同等物の四半期末残高	58,343	61,846

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項  
 (継続企業の前提に関する注記)  
 該当事項はありません。

(セグメント情報)

前第2四半期連結累計期間（自 2016年4月1日 至 2016年9月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	計	調整額	要約四半期 連結財務諸表	
	医薬品					
外部顧客への売上収益	96,302	1,528	97,829	—	97,829	
セグメント間の内部売上収益 又は振替高	—	281	281	△281	—	
計	96,302	1,809	98,111	△281	97,829	
セグメント利益又は損失(△) (注) 2	19,013	△226	18,787	—	18,787	
					金融収益	445
					金融費用	△2,352
					税引前四半期利益	16,881

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントで、医療機器事業などが含まれています。  
 2 セグメント利益又は損失は、営業利益ベースの数値です。  
 3 InnFocus, Inc. の全株式を取得し子会社化したことにより、前連結会計年度末に比べ医薬品セグメントの資産が大幅に増加しています。  
 また、InnFocus, Inc. の取得について、取得対価の配分が完了したことから、上表を遡及修正しています。

当第2四半期連結累計期間（自 2017年4月1日 至 2017年9月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	計	調整額	要約四半期 連結財務諸表	
	医薬品					
外部顧客への売上収益	109,253	1,521	110,774	—	110,774	
セグメント間の内部売上収益 又は振替高	—	368	368	△368	—	
計	109,253	1,889	111,142	△368	110,774	
セグメント利益又は損失(△) (注) 2	21,426	△386	21,039	—	21,039	
					金融収益	497
					金融費用	△851
					税引前四半期利益	20,686

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントで、医療機器事業などが含まれています。  
 2 セグメント利益又は損失は、営業利益ベースの数値です。

（子会社の取得による支出）

前第2四半期連結累計期間（自2016年4月1日至2016年9月30日）

第2四半期連結累計期間に株式の取得により新たに連結子会社となった会社の資産及び負債の主な内訳

株式の取得により新たにInnFocus, Inc.を連結したことに伴う連結開始時の資産及び負債の内訳ならびに株式の取得価額と取得のための支出（純額）との関係は次のとおりです。

無形資産	38,758百万円
その他の固定資産	46
のれん	14,996
流動資産	2,586
繰延税金負債	△13,690
流動負債	△111
その他	6
株式の取得価額	42,592
取得日直前に保有していた資本持分の公正価値	△4,071
条件付対価	△16,903
未払金	△64
現金及び現金同等物	△2,507
差引：取得のための支出	19,047

InnFocus, Inc.の取得について、取得対価の配分が完了したことから、上表を遡及修正しています。

（企業結合）

1. 企業結合

前第2四半期連結累計期間（自2016年4月1日至2016年9月30日）

InnFocus, Inc.の取得

（1）企業結合の概要

①被取得企業の名称及び事業の内容

被取得企業の名称：InnFocus, Inc.

事業の内容：緑内障手術の次世代製品の開発、供給

②企業結合を行った理由

InnFocus, Inc.（以下、「InnFocus社」）は、初期から後期の原発開放隅角緑内障における眼圧下降を目的としたインプラント手術に用いるデバイスMicroShuntを開発しています。MicroShuntは諸外国で実施した臨床試験において単独もしくは白内障手術との併用で施術され、房水の流出を促すことによる眼圧下降効果が確認されています。MicroShuntは、既に欧州におけるCEマークの承認を取得しており、現在、FDA承認取得に向けPMA（Pre-Market Approval：市販前承認）申請の最終段階の臨床試験が、米国および欧州にて実施されています。

当社は、InnFocus社の取得により、緑内障領域における製品パイプラインのさらなる強化に取り組み、眼科領域のイノベーションをリードする存在であり続けたいと考えています。また、当社は『世界で存在感のあるスペシャリティ・カンパニー』を長期的な経営ビジョンとして掲げており、グローバルな眼科領域においてさらなる治療貢献を目指してまいります。MicroShuntは新たな治療選択肢として、患者さんに大きな治療効果をもたらすことができると期待しています。

③取得日

2016年8月19日（米国時間）

④被取得企業の支配の獲得方法

InnFocus社に対して、現金を対価として議決権付株式を100%取得しています。

また、契約上、MicroShuntの開発の進捗および販売実績に応じたマイルストーンを支払う定めがあります。

⑤取得した議決権付資本持分割合

取得前の議決権付資本持分割合	9.56%
取得日に追加取得した議決権比率	90.44%
取得後の議決権付資本持分割合	100.00%

(2) 取得日における取得資産及び負債の公正価値、取得対価の内訳

当該企業結合に関し、前連結会計年度において取得対価の配分が完了しなかったため、暫定的な会計処理を行っていましたが、当第2四半期連結会計期間に取得対価の配分が完了しました。

取得日における取得資産及び負債の公正価値、取得対価の内訳は以下のとおりです。

(単位：百万円)

	金額
無形資産	38,758
その他の固定資産	46
その他の流動資産	79
現金及び現金同等物	2,507
繰延税金負債	△13,690
流動負債	△111
その他	6
のれん（注）	14,996
合計	42,592
現金（未払金含む）	21,618
条件付対価	16,903
既存持分の公正価値	4,071
取得対価合計	42,592

(注) のれんの内容は、主に、期待される将来の超過収益力の合理的な見積りにより発生したものです。なお、当該のれんは税法上、損金には計上できません。

当第2四半期連結会計期間において、取得対価の配分が完了したことに伴い、当初の暫定的な金額を遡及修正しました。これに伴い取得日において、主として無形資産が38,758百万円、条件付対価が16,903百万円および繰延税金負債が13,690百万円それぞれ増加し、のれんは6,386百万円減少しました。なお、前第2四半期連結累計期間の要約四半期連結純損益及びその他の包括利益計算書に与える影響は軽微です。

また、前連結会計年度の連結財政状態計算書についても、上記取得対価の配分の完了による遡及修正を行っており、主として無形資産が43,275百万円、条件付対価が18,669百万円および繰延税金負債が15,366百万円それぞれ増加し、のれんは7,147百万円減少しています。

当該企業結合に係る取得関連費用として538百万円を「販売費及び一般管理費」に計上しています。

(3) 参天製薬グループの業績に与える影響

要約四半期連結純損益及びその他の包括利益計算書に含まれる取得日以降のInnFocus社の業績は以下のとおりです。

売上収益 : 一百万円  
 税引前四半期利益 : △134百万円

当企業結合が期首に実施されたと仮定した場合の第2四半期連結累計期間の要約四半期連結純損益及びその他の包括利益計算書に与える影響額は以下のとおりです。

売上収益 : 一百万円  
 税引前四半期利益 : △787百万円

当第2四半期連結累計期間（自 2017年4月1日 至 2017年9月30日）

当第2四半期連結累計期間に生じた企業結合はありません。

2. 条件付対価

企業結合による条件付対価は主としてMicroShuntの開発の進捗および販売実績に応じたマイルストーンであり、当社が条件付対価契約に基づき要求されうるすべての将来の支払額は409百万米ドル（割引前）です。

条件付対価の公正価値ヒエラルキーのレベルはレベル3です。

条件付対価に係る公正価値変動額のうち、時間的価値の変動に基づく部分を「金融費用」に計上するとともに、時間的価値以外の変動に基づく部分を「その他の収益」または「その他の費用」に計上しています。

レベル3に分類した条件付対価の当第2四半期連結累計期間の期首残高から期末残高への調整表は次のとおりです。

(単位：百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)
期首残高	18,669
企業結合による増加	—
期中公正価値変動額	319
期中決済額	—
為替換算差額	90
期末残高	19,078

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. 連結参考資料

(1) 主要製品売上収益

(単位: 百万円)

品目名 (有効成分・剤形)	薬効成分	地域	2017年3月期				2018年3月期			
			第2四半期 累計実績	対前年 伸長率	通期 実績	対前年 伸長率	第2四半期 累計実績	対前年 伸長率	通期 見込	対前年 伸長率
クラビット点眼液 (レボフロキサシン点眼液)	合成抗菌点眼剤	合計	6,914	△13.9%	12,884	△9.6%	7,658	10.8%	13,945	8.2%
		日本	2,601	△20.7%	4,660	△21.3%	2,318	△10.9%	4,308	△7.5%
		アジア	3,704	△8.7%	6,980	△0.3%	4,561	23.1%	8,252	18.2%
		欧州	610	△12.2%	1,245	△6.5%	780	27.9%	1,384	11.2%
タリビッド点眼液 (オフロキサシン点眼液)	合成抗菌点眼剤	合計	858	△21.0%	1,541	△12.5%	882	2.8%	1,455	△5.6%
		日本	312	△16.8%	559	△16.9%	284	△9.0%	472	△15.6%
		アジア	547	△23.2%	982	△9.8%	599	9.6%	983	0.1%
		欧州	-	-	-	-	-	-	-	-
タブコム配合点眼液 (タフルプロスト/ チモロールマレイン酸塩点眼液)	緑内障治療剤	合計	1,282	101.4%	2,798	82.4%	1,875	46.2%	3,800	35.8%
		日本	1,116	99.0%	2,256	63.4%	1,265	13.4%	2,587	14.6%
		アジア	12	-	38	-	64	438.5%	90	137.1%
		欧州	155	103.1%	504	229.3%	547	253.7%	1,124	122.9%
タブロス点眼液 (タフルプロスト点眼液)	緑内障治療剤	合計	8,186	5.9%	16,406	4.9%	8,960	9.5%	18,115	10.4%
		日本	4,961	7.5%	9,592	4.6%	4,936	△0.5%	10,489	9.3%
		アジア	570	3.6%	1,227	11.8%	880	54.4%	1,613	31.5%
		欧州	2,654	3.5%	5,587	4.1%	3,144	18.4%	5,985	7.1%
コソプト配合点眼液 (ドルゾラミド塩酸塩/ チモロールマレイン酸塩点眼液)	緑内障治療剤	合計	11,176	14.0%	22,164	7.7%	12,163	8.8%	23,013	3.8%
		日本	5,887	3.2%	11,366	1.4%	5,915	0.5%	11,468	0.9%
		アジア	1,303	2.7%	2,669	7.1%	1,583	21.5%	2,913	9.1%
		欧州	3,986	40.9%	8,122	18.1%	4,662	16.9%	8,476	4.4%
チモプトール点眼液 (チモロールマレイン酸塩点眼液)	緑内障治療剤	合計	845	△18.1%	1,509	△21.8%	780	△7.6%	1,373	△9.0%
		日本	522	△18.0%	967	△18.1%	437	△16.3%	853	△11.8%
		アジア	63	△14.5%	119	△14.8%	60	△5.1%	124	4.0%
		欧州	260	△19.1%	422	△30.6%	283	9.2%	395	△6.2%
チモプトールXE点眼液 (チモロールマレイン酸塩持続性点眼液)	緑内障治療剤	合計	1,173	△9.5%	2,382	△3.3%	1,165	△0.7%	2,236	△6.1%
		日本	867	△13.1%	1,614	△14.4%	753	△13.1%	1,450	△10.2%
		アジア	41	△8.0%	88	0.8%	52	26.2%	100	13.1%
		欧州	265	4.7%	679	38.8%	360	36.0%	687	1.1%
トルソプト点眼液 (ドルゾラミド塩酸塩点眼液)	緑内障治療剤	合計	2,159	△1.6%	4,343	△4.8%	2,276	5.4%	3,906	△10.1%
		日本	914	△19.2%	1,731	△18.6%	866	△5.3%	1,396	△19.3%
		アジア	137	△53.8%	271	△39.3%	152	11.0%	280	3.3%
		欧州	1,108	44.8%	2,333	17.2%	1,242	12.1%	2,194	△6.0%
レスキュラ点眼液 (イソプロピルウノプロスト点眼液)	緑内障治療剤	合計	870	△10.0%	1,633	△11.5%	788	△9.4%	1,641	0.5%
		日本	870	△10.0%	1,633	△11.5%	788	△9.4%	1,641	0.5%
		合計	4,066	48.2%	12,235	29.0%	5,088	25.1%	14,926	22.0%
		日本	4,066	48.2%	12,235	29.0%	5,088	25.1%	14,926	22.0%
フルメトロン点眼液 (フルオロメトロン点眼液)	抗炎症点眼剤	合計	1,781	△11.6%	3,347	△11.3%	1,843	3.5%	3,425	2.3%
		日本	1,104	△14.2%	2,224	△16.2%	1,059	△4.1%	2,123	△4.5%
		アジア	677	△7.0%	1,123	0.3%	784	15.8%	1,302	15.9%
		合計	2,120	△6.5%	4,124	△1.5%	2,428	14.5%	4,439	7.7%
カリーユニ点眼液 (ピレノキシ点眼液)	老人性白内障治療剤	合計	2,120	△6.5%	4,124	△1.5%	2,428	14.5%	4,439	7.7%
		日本	1,502	0.4%	2,833	△2.3%	1,446	△3.7%	2,776	△2.0%
		アジア	618	△20.0%	1,291	0.3%	982	58.8%	1,663	28.8%
		合計	661	△28.9%	2,224	18.9%	1,449	119.2%	2,456	10.4%
Oftan Catachrom (オフトンカタクロム) (チトクロームC/アデノシン/ ニコチンアミド含有点眼液)	老人性白内障治療剤	合計	661	△28.9%	2,224	18.9%	1,449	119.2%	2,456	10.4%
		欧州	661	△28.9%	2,224	18.9%	1,449	119.2%	2,456	10.4%
		合計	1,187	△11.1%	2,285	△11.0%	1,192	0.4%	2,288	0.1%
		日本	1,187	△11.1%	2,285	△11.0%	1,192	0.4%	2,288	0.1%
アイリーア硝子体内注射液 (アフリバルセプト(遺伝子組換え) 硝子体内注射液)	眼科用VEGF阻害剤	合計	22,820	16.6%	45,155	12.9%	26,044	14.1%	46,199	2.3%
		日本	22,820	16.6%	45,155	12.9%	26,044	14.1%	46,199	2.3%
		合計	9,308	△10.6%	17,595	△11.4%	9,453	1.6%	17,483	△0.6%
		日本	6,256	△17.4%	11,852	△18.2%	5,738	△8.3%	10,743	△9.4%
ヒアレイン点眼液 (ヒアルロン酸ナトリウム点眼液)	角結膜疾患治療剤	合計	3,052	7.8%	5,743	6.9%	3,716	21.7%	6,740	17.4%
		アジア	5,795	26.6%	11,940	24.0%	7,179	23.9%	14,574	22.1%
		日本	5,403	27.7%	11,016	24.1%	6,447	19.3%	12,642	14.8%
		アジア	391	13.7%	924	23.1%	732	86.9%	1,932	109.0%
ジクアス点眼液 (ジクアホソルナトリウム点眼液)	角結膜疾患治療剤	合計	452	185.2%	1,303	73.5%	1,012	123.9%	2,344	79.9%
		アジア	-	-	2	-	1	-	64	-
		欧州	452	185.2%	1,301	73.2%	1,011	123.6%	2,226	71.1%
		北米	-	-	-	-	-	-	49	-
Ikervis(アイケルビス) (シクロスポリン点眼液)	角結膜疾患治療剤	合計	-	-	-	-	-	-	6	-
		北米	-	-	-	-	-	-	-	-
		合計	755	40.9%	1,835	26.3%	939	24.4%	2,587	41.0%
		アジア	83	27.1%	206	23.4%	110	32.0%	344	67.0%
Cationorm(カチオノーム)	角結膜疾患治療剤	合計	619	44.9%	1,318	28.1%	774	25.1%	1,894	43.7%
		欧州	44	8.1%	280	15.7%	52	18.8%	287	2.4%
		北米	8	270.9%	31	114.9%	2	△75.2%	62	101.7%
		合計	6,087	24.1%	12,553	14.1%	7,713	26.7%	12,900	2.8%

(単位: 円)

主要通貨 為替換算レート	通貨	2017年3月期 第2四半期	2017年3月期	2018年3月期 第2四半期	2018年3月期(予想)
	米ドル	105.86	108.64	111.18	110.00
	ユーロ	118.59	118.96	126.76	120.00
	中国元	16.04	16.14	16.43	16.50

※上記の見込等は、現在において入手可能な情報に基づいて作成しています。実際の業績等は、事業環境変化などにより、大きく結果が異なる可能性があります。

（2）医薬品開発状況

※2017年11月1日現在

■医薬品開発状況一覧表（臨床段階）

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
ジクアホソルナトリウム	DE-089	ドライアイ	Merck Sharp & Dohme Corp. (米国)	中国				2017年10月		
角結膜上皮からムチンや水分の分泌を促すドライアイ治療剤。既存薬と異なる作用機序を持つ。2010年12月、日本で発売。2017年10月、中国で輸入医薬品承認を取得。2013年10月に韓国、2016年2月にベトナム、2016年4月にタイで発売。アジアで順次販売承認を申請。										

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
シロリムス	DE-109	ぶどう膜炎	自社	米国				2017年2月		
				日本						
				欧州						
				アジア				2015年4月		
免疫抑制作用、血管新生抑制作用などを有する硝子体内注射剤。2017年2月、米国で販売承認を申請。欧州で販売承認申請を準備中。2015年4月、アジアで販売承認を申請。										

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
エピナスチン塩酸塩	DE-114A	アレルギー性結膜炎	日本ベーリンガーインゲルハイム	日本						
H <sub>1</sub> 拮抗作用と膜安定化作用を併せ持つアレルギー性結膜炎治療剤。高用量製剤。2017年5月、日本でフェーズ3試験を開始。										

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
オミデネパグイソプロピル	DE-117	緑内障・高眼圧症	宇部興産と共同開発	米国						
				日本	(フェーズ2b/3)					
				アジア						
新規メカニズムのEP2受容体作動薬。2015年2月、米国でフェーズ2b試験を終了。2015年12月、日本でフェーズ2b/3試験を開始。2016年12月、アジアでフェーズ3試験を開始。										

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
carotuximab	DE-122	滲出型加齢黄斑変性	TRACON社	米国	(フェーズ2a)					
抗エンドグリン抗体の硝子体内注射剤。米国でフェーズ1/2試験を終了。2017年7月、フェーズ2a試験を開始。										

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
sepetaprost	DE-126	緑内障・高眼圧症	小野薬品工業	米国	(フェーズ2b)					
				日本	(フェーズ2b)					
FP受容体およびEP3受容体への作動作用（デュアル作動薬）を有する新規メカニズムのプロスタグランジン誘導体の緑内障・高眼圧症治療剤。2017年7月、米国、日本にてフェーズ2b試験を開始。										

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
アトロピン硫酸塩	DE-127	近視	Singapore Health Services社、南洋理工大学	アジア						
小児における近視の進行を抑制するムスカリン受容体拮抗薬。アジアでフェーズ2試験を準備中。										

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
—	DE-128 (InnFocus MicroShunt)	緑内障	自社	米国	(フェーズ2/3)					
—				欧州						
2016年8月、InnFocus MicroShuntを開発するInnFocus社を買収。原発開放隅角緑内障における眼圧下降を目的とし、房水の流出を促すインプラント手術用デバイス。										

一般名	開発品名	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
シクロスポリン	Cyclokot	ドライアイに伴う重度の角膜炎	自社	米国						
				アジア	2016年11月					
				その他	2016年4月					
免疫抑制作用により、ドライアイに伴う重度の角膜炎を改善する乳化点眼剤。カチオン性製剤技術により組織移行性を高めた製剤。2015年7月以降、ドイツおよびイギリス等、欧州で順次発売。アジアで順次販売承認を申請しており、2016年11月、タイで、2017年3月、韓国等で販売承認を取得。2016年4月、カナダで販売承認を申請。										

一般名	開発品名	効能・効果	自社/導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
シクロスポリン	Vekacia	春季カタル	自社	欧州	2016年12月					
免疫抑制作用により、春季カタルの症状を改善する乳化点眼剤。カチオニック製剤技術により組織移行性を高めた製剤。2016年12月、欧州で販売承認を申請し、優先審査指定を取得。2017年7月に欧州医薬品庁の医薬品評価委員会より承認勧告を取得。										

一般名	開発品名	効能・効果	自社/導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
ラタノプロスト	Catioprost	緑内障・高眼圧症	自社	欧州						
プロスタグランジンF <sub>2</sub> α誘導体の緑内障・高眼圧症治療用乳化点眼剤。										

■2017年度第1四半期決算発表時（2017年8月1日）からの変更点

開発コード / 品名	変更点
DE-089	2017年10月、中国で輸入医薬品承認を取得。
DE-127	アジアでフェーズ2試験を準備中。

（3）設備投資、減価償却費及び償却費、製品に係る無形資産償却費ならびに研究開発費

■設備投資

（単位：百万円）

	2017年3月期		2018年3月期	
	第2四半期 累計実績	通期実績	第2四半期 累計実績	通期見込
設 備 投 資 額	2,864	5,216	2,731	7,660

■減価償却費及び償却費

（単位：百万円）

	2017年3月期		2018年3月期	
	第2四半期 累計実績	通期実績	第2四半期 累計実績	通期見込
総 額	1,667	3,470	2,060	3,830
製 造 経 費	728	1,515	962	1,880
販 売 管 理 費	601	1,246	717	1,270
研 究 開 発 費	338	709	381	680

（注） 製品に係る無形資産償却費および長期前払費用の償却費は除いています。

■製品に係る無形資産償却費

（単位：百万円）

	2017年3月期		2018年3月期	
	第2四半期 累計実績	通期実績	第2四半期 累計実績	通期見込
総 額	3,169	6,412	3,324	6,620
メルク無形資産償却費	2,645	5,357	2,760	5,590
アイケルビス無形資産償却費	336	674	359	680
そ の 他	188	381	205	350

■研究開発費

（単位：百万円）

	2017年3月期		2018年3月期	
	第2四半期 累計実績	通期実績	第2四半期 累計実績	通期見込
研 究 開 発 費	10,304	22,786	11,742	25,000
対 売 上 収 益 比	10.5%	11.4%	10.6%	11.5%

※上記の見込等は、現在において入手可能な情報に基づいて作成しています。実際の業績等は、事業環境変化などにより、大きく結果が異なる可能性があります。